



リュウキュウムラサキの雌を目撃

11月25日、綾西地区で、熱帯地方に分布するチョウの一種であるリュウキュウムラサキを目撃しました。県内では、台風などで飛ばされた「迷チョウ」が時々発見されるそうです。日本ではあまり発見されていないと思われる型で、赤い模様の「パラオ型」の雌でした。南国に生息する美しく珍しいチョウが、冬の花であるツツブキの蜜を吸っていて、不思議に感じました。【情報提供:久保田慶一さん】



カモがバシャバシャ水浴びを

11月25日の朝、目久尻川沿いにある古矢橋の近くで、数羽のカモを見かけました。カモは、北国からの長旅で羽を休めているようでしたが、2羽が突然バシャバシャと水浴びを始めました。水浴びで寄生虫や汚れを落としているようで、シャワーを浴びているように見えました。【秋元 謙治】



アットホームな綾瀬工業団地50周年記念演奏会

11月30日、オーエンス文化会館で、綾瀬工業団地協同組合50周年記念演奏会が行われました。綾北中学校マーチングバンド部「綾北 Mercury Winds」の迫力ある演奏と演技に、来場者は圧倒されている様子でした。来場した子どもたちも一緒に踊っていて、とてもアットホームな雰囲気を感じました。アンコールでは、会場全体が一体となったように盛り上がりしていました。【馬場 正勝】



綾瀬春日原に架かる虹の大橋

11月24日の朝、春日原にある畑の中を通行中に、大きな虹が架かっているのを見掛けました。空を見上げると、畑から畑まで、今まで見たことがないほどの虹の大橋が架かっている、思わずスマートフォンを取り出して、撮影しました。これほどの虹が綾瀬の大地に架かるとは思ってもみなかったので、とても驚きました。【情報提供:古山 豊さん】



美しい冬景色

12月8日の朝は、強い冷え込みでした。普段の様子とは違い、ウォーキングをしている人もおらず、虫や鳥の鳴き声が聞こえない城山公園は、深々とした静寂に包まれていました。木々の間からは、温かそうな光が色付いた落ち葉に降り注ぎ、自然の美しさを醸し出していて、静かで美しい冬景色を見ることができました。【高橋 元】



餅つきで国際交流を!

12月7日、吉岡工業団地内にある(株)栄和産業で、日本語クラスあやせ未来塾が課外授業「餅つきで国際交流を!」を行っていました。約50人が参加し、寒い中でしたが楽しんでいるようで、心温まる交流会でした。初めて参加した外国人市民も多く、餅つきをしたり芋煮鍋を食べたりと、日本の文化を体験する貴重な機会となったようでした。【篠塚 常夫】